

# ウクライナ避難者支援ログハウス建設プロジェクト

勝浦ゼミナール | 蓼沼・村田

活動期間：4月20日～8月10日



## きっかけ...

埼玉県に在住していたウクライナ人の**アンナ**さんが、ウクライナに住んでいる母親を埼玉県に避難させ、共に暮らす住宅を建設する計画に対し、**アンナ**さんの友人である埼玉県在住の**ユリア**さんが協力を申し出て始めました。**ユリア**さんもウクライナに住んでいた両親とそのお孫さんを避難させ、埼玉県の公営住宅に暮らしています。**ユリア**さんの父親**セルゲイ**さんは、ウクライナで自宅や娘さんの住宅も建設してきた方でした。しかし、避難してきてから持病のある奥さんを置いて外出することもなく閉じこもってしまいました。そこで、**ユリア**さんが**セルゲイ**さんに声をかけ、その情報を勝浦先生が知人を通して知り、私たちも力になりたいと参加しました。



## 第一段階： サンダー掛け ・ 塗料塗り



## 第二段階： 大きな木を二階へ... ・ 屋根上の板張り



### 第三段階： 二階を掃除～床張り ・ 気の長さを調整、断熱材



### 最終段階： 仕上げの塗料塗り ・ モルタルで成形



### このプロジェクトを通して...

私たちはこのプロジェクトを通して、協力の大切さを改めて実感することができました。終盤に近づくほど気温が高くなり、「大変」、「疲れた」なんて弱音を吐いてしまうこともありました。しかし、現地に着くといつもニコニコしながら私たちに色々なことを教えてくれるウクライナの方々がありました。でも彼らは友人や親戚がどうなるかわからない、きわめて苦しい状況下に置かれています。それなのに、私たちの前ではいつも笑顔を作ってくれていました。それを思うと、一分一秒でも寄り添ってあげたい、手を貸してあげたいという気持ちがこみあげてきました。一人ではできない作業や危険な作業でも仲間と励まし合いながらこなすことができました。私たちはこの経験を大切に、各々夢に向かって走り続けていきたいと思えます。

